

国分寺市役所の新庁舎では 実質再生可能エネルギー電気を を導入しています！

実質再エネ電気について
こんなことを思っていないですか？

実質って？

家庭でも
使えるの？

停電が増えたり
しないの？

再エネ電気って
高くない？

「再エネ賦課金」
って何だろう？

聞いてみよう！ 話してみよう！

6月の環境ひろば全体会では、東京ガス株式会社をお迎えし、
「エネルギー会社と考える 家庭でもできるゼロカーボン」
をテーマに、企業での実質再エネの取り組みや家庭での活用方法につ
いてお話しいたします。ぜひご参加ください。

【第244回環境ひろば全体会】（当日直接会場へ）

日時：令和7年6月15日（日） 会場：協働スペース（市役所1階）

【フリートーク:国分寺市の下水道の現状について】

埼玉県八潮市で発生した下水道管の陥没事故を受けて、国土交通省から下水道管の緊急調査が発令されることなどから、改めて下水道について知ることを目的に、今回のフリートークで取り上げました。

当日は、市が平成31年2月に策定した「公共下水道ストックマネジメント実施方針」を中心に、事務局から下水道についての説明がありました。

国分寺市では昭和46年から下水道の工事に着手し、その後、計画的に整備を進めてきました。完成から50年以上経過している管も多く、改修の必要性が高まっています。管の平均経過年数は30～40年で、鉄筋コンクリート管が全体の約90%、管径800mm未満が83%を占めています。設置された時期が集中しており、今後の工事スケジュールには課題があります。

国分寺市では、市内を8地区に分け、完成から50年以上、または管径800mm以上のリスクが高い地区から優先して調査・工事を進めています。工事の実施と並行して、次の地区の調査・設計を行い、予算も段階的に増額していく方針です。南部地区では令和元年から調査・設計を進めており、令和6年ごろから工事に着手する予定です。最終的には2047年に北地区などの工事を完了する予定です。

環境ひろば会員からは、次のような意見がありました。

- ・下水道管の材質の性能など向上しているのだろうか。より良い材質であれば、今後は改修サイクルが長くなることが期待できる。
- ・八潮市の陥没事故は硫化水素による下水道管の腐食が原因とされており、経過年数だけでなく危険性の高さも考慮すべき。
- ・緊急の対策が必要な場合に備えた予算の確保が必要ではないか。
- ・鉄筋コンクリート管の表面を無害な薬剤で被覆することで、下水道管の長寿命化が図られていると聞く。
- ・西町プラザで生ごみと天ぷら油の回収が始まり、これにより下水への流入を減らせる。
- ・武蔵国分寺遺跡の参道では雨水浸透対策が実施されている。
- ・雨水浸透に関し、他自治体では「雨庭(あめにわ)」の設置に助成を行っているところもある。
- ・雨庭の推進に加え、雨水をためるタンクの設置への補助も進めてほしい。



武蔵国分寺遺跡参道の浸透

国土交通省は上下水道の広域化・共同化を進める方針を決定しており、今後の動向は不透明です。長期間にわたって着実に実施していくことが求められます。

環境ひろばのお知らせ

6月15日(日)午前10時～正午 協働スペース(市役所1階) (泉町2-2-18)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆様のご参加をお待ちしています。

(あとかき)

下水管の陥没・上水管の破裂、自然・気候変動災害の多発、化学物質・プラスチック汚染の対策の遅れ、発達障害ほか多くの子どもたちが弱る状況、哺乳類のアザラシ・ラッコや人が鳥インフルエンザに感染、多大な環境リスクを前に安心・安全まちづくりは強硬に進める必要があると実感しています。(浅原)

国分寺市環境ひろば

事務局

国分寺市 まちづくり部 環境経営課

〒185-8501 国分寺市泉町 2-2-18 市役所3階

TEL:042-312-8663(直通)

FAX:042-325-1380

Eメール:kankyoukeiei@city.kokubunji.tokyo.jp